



舞台あいさつする山本勇治先生

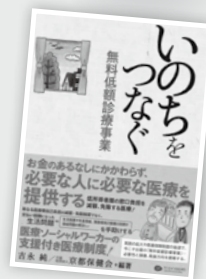
11月19日、「いのちをつなぐ無料低額診療事業」出版記念・京都保健会60周年記念シンポジウムを「拡大、

昨年11月3日、京都こども文化会館で映画「武器なき斗い」上映会を行いました。この映画は、戦後70年、創立60年の期に民医連ルーツとも言える「山宣」に学ぼうと開催しました。当日は160名の参加で、OBや映画撮影時に関わった方、北部共済会、九条診療所関係より多数参加頂きました。映画内容は好評で、山宣ブックレットを20冊普及できました。

今年3月に法人創立60周年を迎えるため、昨年度から記念事業を取り組んでいます。



京都保健会60周年記念事業



深刻化する貧困問題にどう立ち向かうのか」をテーマに、ラポール京都を会場に117人の参加で開催しました。共催のクリエイツかもがわ田島英二代代表取締役が開会挨拶、吉永純花園大学社会福祉学部教授に「現代の貧困と無料低額診療事業の果たす役割」でミニ講演をしてもらいました。吉永氏は書籍出版の経緯も含め、「ひとりの受療権侵害も許さないという『民医連魂』はすごいと感じた」、「貧困と向き合った60年であるが、国保・無低・生保をひっくりかえした60年である」と民医連への期待を述べてもらいました。次にパネラーの吉祥院病院清洲早紀院長、京都民医連中央病院大山潔医療福祉課長、中右京健康友の会



田阪啓常任幹事そして司会の三浦次郎理事長から、それぞれのテーマで報告を受けました。超満員の会場からも発言が相次ぎ、熱気溢れるシンポジウムとなりました。

残る記念事業は、3月の創設60周年記念誌発行、記念DVD作成と記念祝賀会を予定しています。引き続きご協力、宜しく願います。

